

コラボラ 通信



連絡先
ナカムラ TEL&FAX 093-884-9819
北九州市立大学総務課地域貢献担当
TEL 093-964-4194 FAX 093-964-4000
E-mail chiiki@kitakyu-u.ac.jp



ようこそ！コラボラキャンパスネットワークへ

『コラボラキャンパスネットワーク』（愛称コラボラ）は、「北九州市立大学」「乳幼児子育てネットワーク・ひまわり」「NPO 法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンターBee」「高齢社会をよくする北九州女性の会」の4団体が協働し、多世代交流・地域づくりに関する事業を行っています。2006年1月から北九州市立大学で、4団体の個性を活かし合いながら活動に取り組んでいます。キャンパスで、世代を超えた交流の輪が広がっています。コラボラの多彩な活動を通して、一緒にいろいろなことを楽しみませんか？



コラボラキャンパスネットワーク講演会 「子どもは遊ぶのがしごとっ！」



中島俊介先生
北九州市立大学
基盤教育センター教授

年数回、市民向け公開講座として、講演会を企画していますが、7月17日は、中島俊介先生をお迎えして、子どもの遊びについてご講演いただきました。

子育て中の親から「外遊びしたいができない」「遊ばせるのが難しい」と、よく耳にします。先生のお話は面白くて笑いが絶えず、あっという間の2時間でしたが、「遊び」の本質を分りやすく語っていただき、子どもの遊びって、とても大事なんだと改めて気づかれました。講演会後は、キャンパスツアーも開催され、大学の中をクイズに答えながら見学を楽しみました。



76人の参加がありました。

活動団体紹介

[乳幼児子育てネットワーク・ひまわり]

ハロハロカフェ(愛称ハロカフェ)

乳幼児親子、学生、地域の方々が、自分の責任で自由に過ごす多世代交流のスペースです。みんなで子どもたちを見守りながら、遊んだり、おしゃべりしながら、楽しく過ごしています。いろいろな人との出会いも広がりますよ～。

- * 毎月第1・3・5水曜日、10:30～14:00 4号館2階
- * 参加費: 一家族100円 * コーヒー: 50円 学生無料。

子育て中の私達も、子どもと一緒にスタンプとして運営に関わっています。コーヒーを飲みながら、楽しくおしゃべりしませんか？



[NPO 法人 北九州子育て・親育ちエンパワメントセンターBee]

ミニプレーパーク(外遊び)

市内初！定期的にプレーパーク活動をはじめました。大学の芝生ひろばで、ダンボールや草花や土などいろんな素材で遊べる場をつくっています。北九州市立大学芝生ひろばにて開催！

- * 08年5月～09年1月の第2、4水曜日 10:30～14:30
- * 参加費: 一家族100円、学生無料。遊びに来てくださいね！

芝生ひろばでのびのび遊ぶ季節のうつろいを感じながら、いろいろなこと楽しんでいきます。



[高齢社会をよくする北九州女性の会]

コラボ菜園

本館2階テラスと4号館前で、季節の花や野菜を育てています。土作り、水やり、収穫、そしてそれを食べるまで、乳幼児から70歳代までの多世代で、共に経験し交流を深めています。お互いを知ること、文化の伝承や地域づくりの一環になればと考えています。



もぎたてのナス最高

定期的に水やりをしています。菜園ボランティアを募集中です！



[北九州市立大学]

地域に開かれた大学

毎週水曜日のキャンパスには、学生だけでなく乳幼児からシニアまでの地域の方々の姿が見られます。市民や学生の多世代交流を展開している「コラボキャンパスネットワーク」の詳しい活動内容は大学ホームページをご覧ください。

<http://www.kitakyu-u.ac.jp/>



世代を超えて、みんなで中庭の草花に水やりへ。キャンパスに自然と交流の輪が広がっています。

コラボな人...



「もしも、今、ハロカフェで遊んでる！来る？」

宇都 龍志さん

北九州市立大学経済学部2年生・鹿児島県出身
環境サークル「TIE-葉」(タイヨウ)で活動中。サークルでは総務担当、コラボの活動にも参加。「時々、ハロカフェに遊びに行くと、新しい顔ぶれの親子や学生との出会いがあるので楽しみです」と宇都さん。いろいろな世代の人と交流できるのは、とてもいい経験になるとか。子どもたちに、大人気です！

編集後記...編集人 M

ハロカフェで過ごしていたら、文学部の女子学生さんがふらり...。「方言の調査に協力してもらえませんか？」と。ハロカフェに行けば、いろいろな人が集まっていると、ウワサを聞きつけたとか。という訳で全面協力！大学で過ごす時間の中で、学生さんとおしゃべりできるのも楽しみ。こんな風に日常では出会えない人と触れあえるのも、コラボが生み出すコミュニティの力ですね。「コラボ通信」をよろしく願います。